

シンポジウム「伊予国府発見へ向けて」

コーディネーター：大橋 泰夫 先生

(島根大学教授)

松本 和彦 氏

道田 賢志 氏

田坂 嘉則 氏

(今治市教育委員会)

大橋 ただいま紹介いただきました島根大学の橋です。昨年度同様、今回も大勢の方に来ていただき、ありがたく思っています。こうした講演会はシンポジウムになると、お客さんが半分くらいに減ることが良くあるのですが、今日はほとんど帰らずに残っていただいている、本当に熱心な方々ばかりだなと感心しています。

今回は、「伊予国府発見へ向けて サクセスケースに学び プロセスを模索する」ということで、先ほどの備後国府、

讃岐国府についての基調講演を基に、この後70分ほど、討論を進めさせていただきます。お手元の資料の29ページを開いていただくと、内容がおわかりになるかと思えます。

では、まず29ページの1番から始めたいと思うのですが、国府探査事業開始の契機は何か、ということで、いかにして国府を見つけようとしたのかということ、讃岐国府の松本さんからお話し願います。

松本 香川県では昭和50年代に県教育委員会が国府跡とされる場所の発掘調査を行ったのですが、国府の実態がなかなか見えてこなかったということがありますので、県としてはそのリベンジをしないとイケない、ということが探査事業を始めたきっかけのひとつであります。それから、香川県埋蔵文化財センターが国府跡推定地と非常に近い場所にあるということもきっかけのひとつであります。大きくはその二つを理由に、讃岐国府跡というものをしっかり解明していこうということで探査事業を始めることとなりました。

大橋 では、続いて道田さんの方から備後国府についてお願いします。

道田 備後国府も讃岐国府と同様に、当初は備後国府推定地に係る調査ということで、広島県の教育委員会によって調査が行われたという経緯が



Sommaire



01

講演記録 1

「讃岐国府を求めて－香川県の取り組み事例－」

松本 和彦 氏 (香川県埋蔵文化財センター)



16

講演記録 2

「備後国府発見－地域をつなげるための試み－」

道田 賢志 氏 (府中市教育委員会)

31

討論の記録

「伊予国府発見へ向けて」

コーディネーター：大橋 泰夫 氏 (島根大学)



平成 30 年度 今治市・今治市教育委員会・公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター 合同シンポジウム

伊予国府発見へ向けて

－サクセスケースに学び、プロセスを模索する－

出版責任者

中野 良一

デザイン・製作・編集

眞鍋 昭文

発行日

2019 年 5 月

発行

公益財団法人愛媛県埋蔵文化財センター

〒791-8025

愛媛県松山市衣山 4 丁目 68 番地 1

TEL089(911)0502 FAX089(911)0508

<http://www.ehime-maibun.or.jp/>

印刷

佐川印刷株式会社

